

Title	小室正紀教授 略歴・主要業績
Sub Title	Biographical sketch and selected scholarly achievements of professor Masamichi Komuro
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2015
Jtitle	三田学会雑誌 (Mita journal of economics). Vol.107, No.4 (2015. 1) ,p.715(171)- 724(180)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20150101-0171

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

小室 正紀 教授 略歴・主要業績

* 2015年3月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を定年退職するのにもない、
本学会を退会する会員の略歴・主要業績
を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

小室 正紀 教授 略歴・主要業績

略 歴

- 1949 年 東京杉並に生まれる
- 1973 年 慶應義塾大学経済学部卒業
- 1975 年 慶應義塾大学経済学研究科修士課程修了
- 1978 年 慶應義塾大学経済学研究科博士課程単位取得退学
- 1978～1979 年 日本学術振興会奨励研究員
- 1979～1989 年 慶應義塾大学経済学部助手
- 1986～1988 年 Oxford 大学 St.Antoney's College にて Senior Associate Member
- 1989～1996 年 慶應義塾大学経済学部助教授
- 1989～2015 年 慶應義塾福澤研究センター所員
- 1996～2015 年 慶應義塾大学経済学部教授
- 1996～1998 年 慶應義塾福澤研究センター副所長
- 1996～2014 年 同 運営委員
- 2000 年 博士（経済学）
- 2000～2001 年 Oxford 大学, Firenze 大学等で在外研究
- 2003～2005 年 慶應義塾大学経済学部運営委員, 同学部学習指導主任, 通信教育部学務主任
- 2003～2008 年 慶應義塾福澤研究センター所長
- 2003～2008 年 福澤旧邸保存会理事
- 2004～2008 年 文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員
- 2004～2009 年 東洋大学井上円了記念学術センター運営委員
- 2004～2009 年 慶應義塾評議員
- 2007～2009 年 慶應義塾大学経済学研究科委員長
- 2008～2013 年 文部科学省教科用図書検定調査審議会委員
- 2009～2011 年 慶應義塾大学経済学部長, 学校法人慶應義塾理事
- 2010～2013 年 文部科学省教科用図書検定調査審議会第 2 部会長
- 2013 年 Cambridge 大学 Downing College にて Visiting Fellow

所属学会

- 1974年～ 社会経済史学会
1975年～ 経済学史学会
1975年～ 地方史研究協議会
1983年～ 日本経済思想史学会（1991～2014年幹事，2002～2004年『日本経済思想史研究』編集委員長，2004～2012年事務局代表，2012～2013年代表幹事）
1987年～ British Association for Japanese Studies
1990年～ 一般社団法人福澤諭吉協会（2008年～理事）

主要業績

1. 著書・編著書

- 『日本思想大系 45 卷 安藤昌益・佐藤信淵』（共著）岩波書店 1977
『日本の経済思想四百年』（共著）日本経済評論社 1990
『地図に刻まれた歴史と景観』（編著）新人物往来社 1992
『草莽の経済思想——江戸時代における市場・「道」・権利——』（単著）御茶の水書房 1999
『福澤諭吉書簡集』全 9 卷（共編著）岩波書店 2001～2003
『福澤諭吉著作集 第 3 卷 学問のすゝめ』（共編著）慶應義塾大学出版会 2002
『福澤諭吉著作集 第 6 卷 民間経済録・実業論』（編著）慶應義塾大学出版会 2003
『福澤諭吉の手紙』（共編著）岩波書店 2004
『晩年の福澤諭吉——福澤書簡に見る日清戦後の世情と「老余の煩惱」——』（単著）慶應義塾経済学会 2005
『慶應義塾史事典』（共編著）慶應義塾 2008
『未来をひらく福澤諭吉展』（共同監修 福澤諭吉展カタログ）慶應義塾 2009
『福澤諭吉事典』（共編著）慶應義塾 2010
『文明のサイエンス』（共編著）慶應義塾 2011
『慶應義塾 150 年史資料集 基礎資料編 第 1 卷 塾員塾生資料集成』（共編）慶應義塾 2012
『近代日本と福澤諭吉』（編著）慶應義塾大学出版会 2013

2. 論文・書評

- 「19 世紀初頭武蔵野国における「地域」形成の一原理——文化 2（1805）年吉田家金銀出入帳——」『三田学会雑誌』69 卷 8 号 1976 年 12 月
「化政・天保期における一經世論の農村的起源——佐藤信淵の場合——」『三田学会雑誌』71 卷 4 号 1978 年 8 月

- 「府内・府外境界地域における町と村」『新修港区史』1979
- 「幕末一老農の税制分析——常陸国長島尉信の場合——」『三田学会雑誌』75巻3号1982年6月
- 「幕末風俗誌作者の物価論——喜田川守貞の『固根弁』について——」『歴史公論』89巻1958年12月
- 「長島尉信の田制史研究と土地所持権思想——幕末一村役人の太閤検地論——」『三田学会雑誌』78巻5号1985年12月
- 「水戸学藤田派農政論の認識と思想」『三田学会雑誌』83巻特別号I号1990年2月
- 「後期水戸学立原派における民富論への模索——小宮山楓軒と大内正敬を中心として——」『三田学会雑誌』83巻特別号II号1990年9月
- 「幕末農政論争の一重要史料——水戸藩郡方手代大内正敬による「勸農或問 批評」の全貌——」『三田学会雑誌』84巻3号1991年10月
- 「本居宣長における「新法」と「先規」——国学的保守主義と経済的自由——」『立教経済学研究』45巻3号1992年1月
- 「テッサ・モーリスー鈴木著、藤井隆至訳『日本の経済思想』（書評）『週刊読書人』1927号1992年1月
- 「江戸時代経済思想史研究への一視角」『経済学史——課題と展望——』（経済学史学会編）1992年11月
- 「川口浩著『江戸時代の経済思想』（書評）『経済学史学会年報』22号1993年11月
- 「ハワイ大学福沢講座と野村兼太郎講演」『近代日本研究』12巻1996年3月
- 「藤井隆至著『柳田国男 経世済民の学——経済・倫理・教育——』（書評）『経済学史学会年報』34号1996年11月
- “Trends in economic thought in the Tokugawa period”, *Economic Thought and Modernization in Japan*, edited by Shirô Sugihara and Toshihiro Tanaka, London (Edward Elgar), 1998年9月
- 「金原左門著『福沢諭吉と福住正兄 世界と地域の視座』によせて」（書評）『福澤諭吉年鑑』25号1998年12月
- 「シリーズ義塾の20世紀：経済学の潮流（上）」『三田評論』1018号1999年11月
- 「Eiji Takemura, *The Perception of Work in Tokugawa Japan: A Study of Ishida Baigan and Ninomiya Sontoku*」（書評）『社会経済史学』65巻1号1999年
- 「藤田貞一郎著『国益思想の系譜と展開』（書評）『経済史研究』4号2000年5月
- 「八木紀一郎著『近代日本の社会経済学』（書評）『経済学史学会年報』38号2000年11月
- “Kagen und die Entwicklung des ökonomischen Denkens in der Mitte der Edo-Periode”, translated by Dr. Günther Distelrath, *Vademecum zu einem Japanischen Klassiker des ökonomischen Denkens*, Verlag Wirtschaft und Finanzen Verlagsgruppe Handelsblatt GmbH, Düsseldorf, 2001年12月
- 「三浦梅園と福沢諭吉」『交詢雑誌』450号2002年4月
- 「I.J. マクマレン著、英語圏における徳川時代経済思想史研究の現状」（翻訳）『日本経済思想史研究』3号

2003年3月

「日本経済思想史：江戸から明治へ——江戸時代経済思想史研究の二十年——」『経済学史学会年報』43号

2003年6月

「松野尾裕著『日本の近代化と経済学——ボン大学講義——』（書評）『社会経済史学』69巻2003年11月

「大坂両替商草間直方における「融通」（『日本の経済思想』日本経済評論社）所収2004年12月

「ギュンター・ディステルラート著、宇和島藩の思想と政治——幕藩体制下の重商主義の一例と日欧比較——」（共訳）（『日本の経済思想』日本経済評論社）2004年12月

「書簡に見る福澤人物誌 No.9 森村市太郎・森村豊・村井保固——海外貿易の開拓者——」『三田評論』1075号2005年1月

「江戸の思想と福澤論吉」『三田評論』1077号2005年3月

「若尾政希著『安藤昌益からみえる日本近世』（書評）『経済学史研究』47巻2号2005年12月

「書簡に見る福澤人物誌 No.22 九鬼隆義・白洲退蔵・沢茂吉——開明派旧藩主とその周辺——」『三田評論』1088号2006年3月

「平野哲也著『江戸時代村社会の存立構造』（書評）『社会経済史学』72巻3号2006年9月

「松方デフレ期における福澤論吉の経済思想——明治一六年『時事新報』社説を中心に——」『福澤論吉年鑑』33巻2006年12月

「江戸時代後期の経済思想と『価原』」『日本経済思想史研究』7号2007年3月

「『三田学会雑誌』百年史：創刊から昭和戦前期に至るまで」『三田学会雑誌』100巻1号2007年4月

「西欧経済思想導入以前の日本経済思想」（八木紀一郎編著『経済思想11巻 非西欧圏の経済学——土着・伝統的経済思想とその変容——』）所収2007年12月

「福澤論吉」（草光俊雄・五味文彦・杉森哲也共編著『歴史と人間』）所収2008年3月

「江戸時代の貨幣政策論争——元禄・享保期を例として——」『三色旗』753号2010年12月

「尚商論と独立自尊——福澤論吉における実業論の行方——」『三田評論』1140号2010年12月

「ジェームズ・マクマレン著、熊沢蕃山の思想における文明と環境」（翻訳）（慶應義塾編『文明のサイエンス』）所収2011年7月

「福澤論吉の経済論」『三田評論』1148号（『福澤論吉年鑑』38号2011年12月に転載）2011年8月

「福澤論吉の経済論における「官民調和」」『日本経済思想史研究』12号2012年3月

「藤田貞一郎著『「領政改革」概念の提唱——訓古学再考——』（書評）『日本経済思想史研究』12号2012年3月

「中野剛志著『日本思想史新論』（書評）『日本経済思想史研究』14号2014年3月

3. 事典・随筆・座談会・コラムなど

『島崎隆夫遺稿集』（共編著）島崎会 1993年10月

「佐藤信淵著『経済要略』——幕末危機に対処するユニークな構想——」（石井良介・奈良本辰也監修『古典の事典』）所収 1984年6月

「五人組・旧家・肥料・村切・興業意見・出作・郷戸・肝煎・困米」（『世界歴史大事典』）所収 1985年4月

「世界の大学——オックスフォード大学——」『三色旗』487号 1988年10月

「日本における経済学の誕生と慶應義塾」（展覧会パンフレット，小松隆二・葛木能夫と共著）1990年8月

「福澤研究余録 豪農吉田家と洋学」『慶應義塾大学報』220号 1991年1月

「異国で考えたこと オックスフォード：階層文化と大学」『塾』169号 1991年10月

「塾史散歩 福澤諭吉と大蔵永常」『慶應義塾大学報』230号 1992年1月

「幕末地域社会と慶應義塾」『福澤手帖』72巻 1992年3月

「日本経済思想史のおもしろさ」『三色旗』553号 1994年4月

「江戸の思想と現代」慶應義塾大学弁論部OB会誌『エルゴ』16号 1994年9月

「啓蒙としての「日本啓蒙」」『日本経済思想史研究会年報』4号 1995年4月

「鼎談 アメリカからのフクザワ・コール」（アルバート・クレイグ・西川俊作との鼎談）『三田評論』979号 1996年4月

「著者に聞く『草莽の経済思想——江戸時代における市場・「道」・権利——』」『週刊エコノミスト』1999年5月

「福沢諭吉の経済思想——現代に生きるその魅力——」『世紀をつらぬく福沢諭吉展』2001年1月

「『語り部』としての飯田先生」（『飯田鼎著作集』第11巻月報）2001年7月

「『学問のすゝめ』字義雑感」『福澤手帖』112号 2002年3月

「『学問ノスゝメ』としての威さん」『慶應義塾大学日吉紀要』36号 2003年3月

「『福澤諭吉書簡集』以後を思う」『福澤手帖』118号 2003年9月

「慶應義塾この一冊 慶應義塾編『福沢諭吉の手紙』」『塾』243号 2004年 Summer

「福澤諭吉——家庭の原景——」『三色旗』695号 2006年2月

「福澤諭吉に学ぶ「実学」」（猪木武徳・清家篤・橋本五郎との座談会）『三田評論』1087号 2006年2月

「福澤先生と鉄道」『子馬』58巻2号 2006年7月

「慶應義塾この一冊 松崎欽一著『語り手としての福澤諭吉——ことばを武器として——』」『塾』249号 2006年 Winter

「特集 教壇で語る福澤諭吉 慶應で福澤諭吉を考えるとということ」『三色旗』709号 2007年4月

「北康利著『福澤諭吉 国を支えて国に頼らず』」（書評）『産経新聞』2007年5月

「『私立』の意義と力——白井厚君研究会による義塾関係戦没者調査——」白井厚研究会会誌『創世』35号 2007年11月

「福澤諭吉との間合い——福澤研究センターの講義——」『三田評論』1113号 2008年6月
「この秋の『慶應義塾史事典』刊行をひかえて」『福澤手帖』137号 2008年6月
「生誕一二〇年記念小泉信三展を開催して」『三田評論』1115号 2008年8月
「井上円了博士と福澤諭吉」『東洋大学創立者井上円了生誕150周年記念講演会報告書』2008年10月
「百三十年史発刊に際して」『慶應義塾弁論部百三十年史』2008年11月
「おわりに」『1943年晩秋 最後の早慶戦』2008年
「『福澤山脈』, その苦き勝利」『未来をひらく福澤諭吉展』2009年1月
「『半学半教』の飯田鼎先生を悼む」『福澤手帖』152号 2012年3月
「揺らぐことなく「義」を貫いた山田方谷の財政改革に学ぶ」(樋口公啓との対談)『理念と経営』2012年8月
「福澤研究センターの「これまで」と「これから」」(岩谷十郎・小泉仰・坂井達郎・平野隆・米山光儀との座談会)『近代日本研究』30巻 2014年2月
「『日本経済思想史研究会』創立三十年と逆井孝仁先生の思い出」(老川慶喜・見城悌治・藤井隆至との座談会)『日本経済思想史研究』14号 2014年3月
「福澤先生御母堂の葬儀と股引尻端折」『交詢雑誌』588号 2014年5月

4. 口頭発表

「幕末期一村役人の田制史研究と土地制度思想」社会経済史学会第51回全国大会 1982年6月
「幕末田制論の一例によせて」日本経済思想史研究会例会 1983年7月
「幕末期一村役人の太閤検地論」日本経済思想史研究会例会 1984年4月
“The development of ideas concerning taxation in the Tokugawa period”, Annual Conference of British Association for Japanese Studies, 1988年4月
「田中丘隅における儒学と農政」社会経済史学会第58回全国大会 1989年6月
「後期水戸学農政論における民富と徳治——大内正敬の「勸農或問頭書」を中心として——」日本経済思想史研究会例会 1990年6月
「詩と農政——再論：田中丘隅と徂徠学——」日本経済思想史研究会全国大会 1994年6月
「江戸の思想と福澤諭吉」慶應倶楽部午餐会 1998年1月
「福澤の経済思想」生涯学習セミナー「人と思想：福澤諭吉」公開講演 1998年10月
シンポジウム「『近代』国家形成期における国益と経済」(総括を担当)日本経済思想史研究会大会 2000年6月
「日本経済思想史における進歩と秩序——19世紀を中心として——」日本経済思想史研究会 2001年6月
シンポジウム「日本経済思想史における進歩と秩序——19世紀を中心として：三浦梅園・田口卯吉・柳田国男——」経済学史学会全国大会 2001年11月

- 「草間伊助『三貨図彙』に見る文化期町人」日本経済思想史研究会例会 2002年7月
- 「書簡に見る晩年の福澤諭吉——「老余の煩惱」と日清戦後の世情——」慶應義塾経済学会報告会 2002年11月
- 「『十九世紀』と大坂両替商草間直方」社会経済史学会第72回全国大会 2003年5月
- 「慶應義塾と福澤研究センター」慶應倶楽部午餐会 2004年1月
- 「日本経済思想史研究の回顧と展望——江戸期と明治期——」(共同報告)日本経済思想史研究会例会 2004年3月
- 「実学とは何か」「立国は私なり：福澤における個人主義と武士道」群馬慶應倶楽部主催 現在に生きる福澤諭吉先生の子孫の精神 公開講演 2004年10月
- 「江戸の思想と福澤諭吉」第170回福澤先生誕生記念会 2005年1月
- “Intercultural Perspectives on Economic Thought: Confucian Thoughts in Edo Period and Yukichi Fukuzawa” (パネラーとして報告) 経済学史学会第69回大会 2005年5月
- 「地方の時代と藩政改革」(パネラーとして報告) 日本経済思想史研究会第16回全国大会 2005年6月
- 「近代日本研究と福澤研究センター」全国大学史資料協議会 2005年度総会 2005年10月
- 「郷里中津と福澤諭吉——「立国は私なり」から考える——」慶應義塾大学通信教育部中津講演会 2005年11月
- 「慶應義塾における近代日本研究と大学史講義」大学史研究会第28回研究セミナー 2005年12月
- 「福澤先生と鉄道」慶應義塾幼稚舎福澤先生御命日講話 2006年2月
- 「松方デフレ期における福澤諭吉の経済思想——明治16年『時事新報』社説を中心として——」福澤諭吉協会総会記念講演 2006年5月
- 「福澤諭吉の教育理念——実学とは何か——」横浜南ロータリークラブ例会 2006年9月
(再論)「松方デフレ期における福澤諭吉の経済思想——明治16年『時事新報』社説を中心として——」日本経済思想史研究会例会 2006年12月
- 「日中共同経済思想史シンポジウム 経済発展と経済倫理——企業者を通して考える——」(共同報告 総括担当) 日本経済思想史研究会全国大会 2007年8月
(再論)「『実学』とは何か」エルゴール会総会記念講演 2008年5月
- 「慶應義塾150年と福澤諭吉」鎌倉三田会総会記念講演 2008年6月
- 「福澤書簡にみる英学事始——築地鉄砲洲・芝新銭座時代を中心に——」慶應英文学会第4回大会 2008年9月
- 「江戸時代の思想と経済危機」東京原宿ロータリークラブ 2009年4月
- 「幕末・維新の思想と横浜開港——佐久間象山と福澤諭吉——」横浜開港150周年記念第2回よこはま開港記念塾 2009年9月
- 「福澤諭吉と保険事業」OLIS 慶應義塾大学保険フォーラム 2009年11月

- 「尚商論と独立自尊——福澤諭吉における実業論の行方——」福澤諭吉先生生誕 175 年記念式典記念講演
2010 年 7 月
- 「江戸時代の貨幣政策論争」平成 22 年度小泉信三記念講座 2010 年 8 月
- 「実学をひも解く——教育の発想転換——」日本看護歴史学会第 24 回学術集会 2010 年 9 月
- 「福澤諭吉と比較して——官民調和論の観点から——」（パネル・ディスカッション「日本の近代化過程に
おける経済政策思想——官民二分論を超えて——」コメンテーターとして）社会経済史学会第 80 回全
国大会 2011 年 5 月
- 「福澤諭吉の経済論」福澤先生ウェーランド経済書講述記念講演会 2011 年 5 月
- 「大坂商人草間直方の時代感覚」日本文化研究会記念講演 2011 年 10 月
- 「福澤先生の師弟関係」慶友三田会・東京通信三田会 2011 年 10 月
- 「福澤諭吉と災害——『時事新報』記事から考える——」日吉キャンパス公開講座 2011 年 11 月
- 「現在の世界情勢と福澤諭吉」福澤諭吉 112 回忌法要記念講演 2012 年 2 月
- “Japanese Enlightenment and Confucian Thought in the Edo Period:the case of Yukichi Fukuzawa”,
Modern Korean Intellectuals’ Understanding on Social Science of the West and their Academic
Lineage, at Yonsei University in Korea, 2012 年 4 月
- 「福澤における「士流」と文明」交詢社午餐会 2013 年 2 月
- 「合評会報告 石井寛治著『帝国主義日本の対外戦略』をめぐって」（パネラーとして共同報告）日本経済
思想史学会 2013 年 3 月
- （再論）「晩年の福澤諭吉」三田教育会 2013 年 3 月
- 「第一世代の経済学会と『三田学会雑誌』」経済学会・BDKE 委員会共催報告会 2013 年 3 月
- 「福澤諭吉の経済ビジョン」経営ビジョン構想懇話会 2013 年 8 月
- 「私的体験としての江戸時代経済思想史研究」日本経済思想史学会例会 2014 年 12 月
- 「『学問のすゝめ』三つの話——今福澤諭吉から何を学ぶか——」慶應義塾湘南藤沢中高等部福澤先生記念
講演会 2015 年 2 月